

Hokkaido Akan High School

北海道阿寒高等学校



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Member of



UNESCO
Associated
Schools

School guide
学校案内
2023

学校長から

阿寒高校で丹頂のように羽ばたきましょう！

北海道阿寒高等学校長 吉田 光 利

本校は、昭和25年(1950年)に開校し、地域と共に歩んできた伝統ある高校です。これまで5,000名以上の卒業生を輩出し、地域の釧路市阿寒町をはじめ道内外で活躍しています。現在は、全日制普通科1クラス、全校生徒は約40名と小さな学校ですが、「一人一人を真に大切に」きめ細かな教育を実践しています。

少人数という特性をいかしながら、ティーム・ティーチングや遠隔配信センター(T-base)からの遠隔授業を展開して、「わかる授業」を行っています。また、進路学習や教育相談においても生徒に寄り添う個別指導に力を入れています。

二つの国立公園、そして空港や高速ICに隣接しているという類い希な立地を生かし、管内の高校で唯一「ユネスコスクール」に認証されています。持続可能な開発のための教育(ESD)の推進に向けて、地域の文化や環境を理解してさらに深めながら広めるために、様々な体験的学習活動を取り入れています。

「地元でも夢を叶えられる学校」「多様な悩みや課題を抱えた生徒に手厚いサポートができる学校」を目指し、大自然に囲まれた小さな阿寒高校だからこそできる教育を推進しています。

生徒一人一人の夢の実現に向け、国立大学進学から一般就職まで幅広く、様々なニーズに応じたサポートにより、8年連続進路実現100%を達成しています。

生徒と地域の意見を反映し、校舎の色が水色にリニューアルしました。「阿寒の象徴である丹頂が舞う青空のように」「果てしなく広がる青空のように阿寒高校がいつまでも続くように」という思いが込められています。阿寒高校で羽ばたきましょう！

阿寒高校について

1 校訓 「不如学」(学ぶに如かず)

2 学校教育目標 「一人一人を大切に、豊かな心の育成を目指す」

3 スクール・ミッション

(1) 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成

(2) 地域における体験的な学習活動等を通じて、望ましい勤労観、職業観を身に付け、地域創生に資する生徒の育成

4 3つの方針(スクール・ポリシー)

○育成を目指す資質・能力に関する方針

(1) 課題解決に取り組む人材の育成

(2) 地域社会に貢献できる人材の育成

○教育課程の編成及び実施に関する方針

(1) 基礎的な学力を身に付け、個々の目標に向けて取り組む姿勢を育む

(2) 他者と協働し、実践的な活動をおしてコミュニケーション能力を育む

○入学者の受入れに関する方針

(1) 学ぶ姿勢を持ち続ける生徒

(2) 地域の自然や文化、交流活動に興味・関心がある生徒

5 生徒在籍数(令和5年6月1日現在)

学 年	1 年	2 年	3 年	合 計
人 数	23	8	12	43

6 出身中学校別生徒数

中学校名	阿 寒	阿寒湖	鳥 取	山 花	大楽毛	鳥取西	美 原	景 雲	共 栄	青 陵	その他
生徒数											
1年	12	0	3	0	1	3	0	2	1	1	0
2年	2	0	0	1	0	3	2	0	0	0	0
3年	6	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1
合 計	20	1	4	2	3	6	2	2	1	1	1

7 通学方法

	徒 歩	自 転 車	バ ス	ス トラップ	保護者送迎
			大 楽 毛 線	湖 時 線	
1 年	2	9	9	0	3
2 年	2	0	5	0	1
3 年	4	2	2	1	3
計	8	11	16	1	7

※釧路市からバス通学費助成が受けられます。詳細は、市HP「釧路市高等学校等広域通学費助成制度」をご覧ください。

EDUCATION

阿寒高校の「教育」

教育目標

一人一人を大切に、豊かな心の育成を目指す

- 1 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心
- 2 誠実に協力し合い、人を思いやる心
- 3 心身を鍛え、健康・安全に努める心
- 4 地域の文化と自然を愛する心

目指す学校像

学びのある学校

- ・体験型や探究型学習の充実
- ・ティーム・ティーチングや習熟度展開などを用いた少人数制授業
- ・個別学習を通じた学び直しや進学指導



仲間と成長できる学校

- ・町内四校（幼小中高）交流行事や生徒主体の全校集会などの多彩な学校行事
- ・生徒一人ひとりが主役になれる場面設定



安心した生活のできる学校

- ・いじめ防止へ向けた取り組みや安全教育、健康教育の実践
- ・スクールカウンセラーの活用や全校面談の実施など、相談体制が充実



地域から信頼される学校

- ・地域巡検やスノーシュー体験などの自然体験活動
- ・町内会の活動への参加やボランティア活動を通じた地域理解



制服



男女とも紺のスーツに、ストライプのネクタイを合わせたスタイリッシュな制服。オプションでグレーのニットベスト、女子のスラックスなどもあります。



学年によりジャージと上靴の線の色が変わります。



ストライプのネクタイは男女兼用です。

SCHOOL LIFE

阿寒高校での「生活」

阿寒高校生の日

■授業

学校生活のほとんどを占める授業。小グループでの話し合いや複数の教師が1つの授業に入るティーム・ティーチングなど少人数を活かした様々な学びの工夫があります。45分の昼休みを挟んで午後の授業が始まります。

英語コミュニケーションⅡ



普段は習熟度別（本校教諭と遠隔授業）ですが、テスト前やALTが来たときは全員一緒に学習します。

先生が授業をすることもあります。生徒同士で教科書の問題を解き合うスタイルで学習しています。

数学Ⅱ（2・3年）



数学Ⅰ



入学後は中学校段階の復習から学習していきます。タブレットを活用してグラフをかくたりしています。

家庭総合（1・2年）



被服や調理の実習に加え、座学もあります。場面によっては学年合同で学習することもあります。

1・2年で学習した内容を踏まえ、実技や鑑賞、創作などの分野を、より発展的に学習します。

音楽Ⅲ



保健（1・2年）



健康、性、運動と法令・制度などについて、スライドやグループワークを通して学習します。

体育（1～3年）



ソフトボール、バレー、バスケットといった球技に加え、陸上、柔道、スキーなども行います。

生徒会行事や四校連携行事など様々な活躍する場面が用意されています。

行事（写真は新入生歓迎会）



■登校

登校時には毎朝先生方が出迎えてくれます。



■昼休み

昼休みはお弁当（持参）です。令和3年度から自動販売機が設置され、休み時間など生徒はよく利用しています。



年間行事（令和元年度～令和4年度の実績をもとに作成しています。行事は年度や社会情勢などによって、実施時期や内容を変更する場合があります。）



④ April

入学式
新入生初エンターテインメント
新入生歓迎会



⑤ May

生徒総会
社行会・部局生集会



⑥ June

職場体験学習
四校交流会



⑦ July

学校祭①
地域巡検



⑧ August

夏季休業



⑨ September

生徒会役員選挙
四校合同街頭啓発

■部局活動・生徒会活動・委員会活動など

15:15 に一日の授業が終了。SHR（帰りの会）や掃除を終えて放課後となります。15:40～18:00 は所属する部活動、委員会に応じて活動します。活動せずに下校する生徒やアルバイトをする生徒もいます。放課後活動した生徒は、18:00 くらいに下校します。通学の方法は徒歩や自転車、バス、保護者送迎など家庭によって様々です。

YOSAKOI 部



生徒会執行部



吹奏楽部



勉強部「can-pass」



野球部



ボランティア部



図書・情報局



10 October

体験入学
幼稚園交流
高速道路現場見学

11 November

体育大会

12 December

見学旅行
生徒主体の全校集会
学校祭②

1 January

スキー授業

2 February

自然体験活動
卒業生進路報告会

3 March

卒業式
修了式

STUDY 阿寒高校の「学び」

学びの特徴

① 少人数だからできる一人一人に手厚いサポート

少人数制



生徒一人一人に関わる教職員数は（生徒約40人に職員16人）一般的な他校（生徒約600人に職員約50人）の約5倍。

習熟度展開・複数教員の配置



英語は習熟度別、数学はチーム・ティーチング。

② 地域連携校だから特別なサポートがある



令和5年度は1年生の英語コミュニケーションⅠ、2年生の英語コミュニケーションⅡと数学A、3年生の英語表現で遠隔配信授業が行われています。本校にいながらセンター校（有朋高校）の先生の授業を受けることができます。また、協力校（湖陵高校）と様々な連携交流ができます。

③ 恵まれた自然環境の下、豊かな心を育てます

地域巡検



釧路湿原や阿寒湖を訪問。地元の施設や専門家の説明を受けて地域課題を理解する。

自然体験学習



夏はカヌー体験とボック散策、冬はワカサギ釣り体験とスノーシュー体験を行います。

④ 地域と連携し地域と共に歩む学校

幼稚園交流



幼稚園を訪問して自分たちが計画した内容で園児とふれあう。

国道花壇整備



地元阿寒町の国道花壇の植栽や草抜きなどを行い、環境整備をしています。

四校連携合同交流会



幼・小・中・高の四校の児童生徒が簡単なゲーム活動を通して交流を深めます。

⑤ 小さな学校でも可能な幅広い進路実現（進路決定率100%を継続中）

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1年次	現代の国語	言語文化	公共	地理総合						数学Ⅰ				生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ		家庭総合	情報Ⅰ								
2年次	論理国語	文学国語	歴史総合	数学A	化学基礎	地学基礎	体育	保健	音楽Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	情報処理	数学Ⅱ 簿記 演奏研究	論理・表現Ⅰ 簿記 アード デザイン															
3年次	論理国語	文学国語	政治・経済		数学B					生物			体育	音楽Ⅲ	英語コミュニケーションⅡ				論理・表現Ⅱ ソフトウェア活用 課題研究		数学Ⅱ 財務会計Ⅰ 消費生活								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

注）2・3年次の教育課程は部分的に変更になる可能性があります。

進路学習

職業観の育成



職業・学問研究【1年次】

地域課題の発見と解決



職場体験学習【2年次】

よりよい生き方の考察



探究活動【3年次】

進路の実現



個別面接指導【1～3年次】

進路実績（過去の進学・就職先の抜粋）

〔進学〕

◆大学

- ・小樽商科大学
- ・北海道教育大学釧路校
- ・公立はこだて未来大学
- ・釧路公立大学
- ・名寄市立大学
- ・日本赤十字北海道看護大学
- ・北海道医療大学
- ・北海道文教大学
- ・北翔大学
- ・北海道情報大学
- ・札幌大学

◆短大

- ・北海道武蔵女子短期大学
- ・北星学園大学短期大学部
- ・北翔大学短期大学部
- ・釧路短期大学
- ・函館短期大学
- ・光塩学園女子短期大学

◆専門学校 等

- ・くしろせんもん学校
- ・釧路孝仁会看護専門学校
- ・北海道立釧路高等技術専門学院
- ・帯広調理専門学校
- ・帯広コア専門学校
- ・旭川南科学専門学校
- ・大原法律公務員専門学校
- ・札幌こども専門学校
- ・北海道芸術デザイン専門学校
- ・経専北海道どうぶつ専門学校
- ・札幌マンガ・アニメ＆声優専門学校
- ・北海道看護専門学校

〔就職〕

◆一般就職

- ・株式会社 セノノ道東営業所
- ・株式会社 啓生会
- ・株式会社 柳月
- ・道東飼料株式会社

- ・生活協同組合 コープさっぽろ
- ・株式会社 あいけあ
- ・有限会社 咲楽
- ・有限会社 ソリューション
- ・すずき歯科
- ・鶴雅リゾート 株式会社
- ・野口観光 株式会社
- ・ノーザンミフワ 株式会社
- ・株式会社 NK インターナショナル
- ・銅高運輸 株式会社
- ・株式会社 阿寒町観光振興公社
- ・東光薬品工業 株式会社
- ・株式会社 美警
- ・有限会社 マルフジ
- ・株式会社 共立メンテナンス
- ・株式会社 N3 ライフ
- ・社会福祉法人 釧路創生会
- ・株式会社 三ツ輪商会
- ・城成建設 株式会社

- ・株式会社 プリンスホテル
- ・株式会社 藤森商会
- ・北海道旅客 株式会社
- ・佐川急便 株式会社
- ・株式会社 福原
- ・有限会社 ときわ
- ・有限会社 釧路ホテルマネジメント
- ・阿寒観光汽船 株式会社
- ・株式会社 ロンド
- ・忠和商事 株式会社
- ・株式会社 マルハン
- ・釧路信用金庫

◆公務員

- 陸上自衛隊
- 海上自衛隊

先輩からのメッセージ

令和3年度卒業生 釧路公立大学在学

林 直樹

阿寒高校では誰でも主役になります。他の高校と違い、行事や委員会活動を通して他学年との交流が多くあり、地域間での交流も多いので、知らない人とコミュニケーションをとることが苦手な人であっても自然と話すことができるようになります。阿寒高校は少人数の学校なので誰もがリーダーとなって他の人を引っ張り何か一つの目標に取り組むことができます。そして、先生方は一人ひとりに親身になって接してくれるので、困ったことや勉強で分からないことがあってもすぐに相談のしてくれます。私は入学前は自信を持って行動することができませんでした。しかし、入学後は様々な活動を通して人と話すことで次第に自信を持って行動することができるようになりました。この進歩は今の大学生活でとても役に立っています。

令和2年度卒業生 北海道情報大学在学

武田 礼

阿寒高校は誰でも主役になれる学校です。学校祭や幼稚園交流学習など多数の行事があり、人前での発表やリーダーとして異学年のチームを引っ張る機会がたくさんあります。人とコミュニケーションをとることがあまり得意ではない人でも、先生方が親身に相談に乗ってサポートしてくださるので、阿寒高校を卒業する頃には苦手意識がなくなっていると思います。私自身、阿寒高校に入学するまで、リーダー等になることは避けていました。しかし、入学後は行事や部活動、生徒会活動でリーダーとしてチームを引っ張っていく機会が多くあり、自然とリーダーシップを身につけることができました。今まであまり先頭に立って活動することが苦手な人も、阿寒高校で主役として高校生活を送ってみませんか。

令和2年度卒業生 釧路短期大学卒業

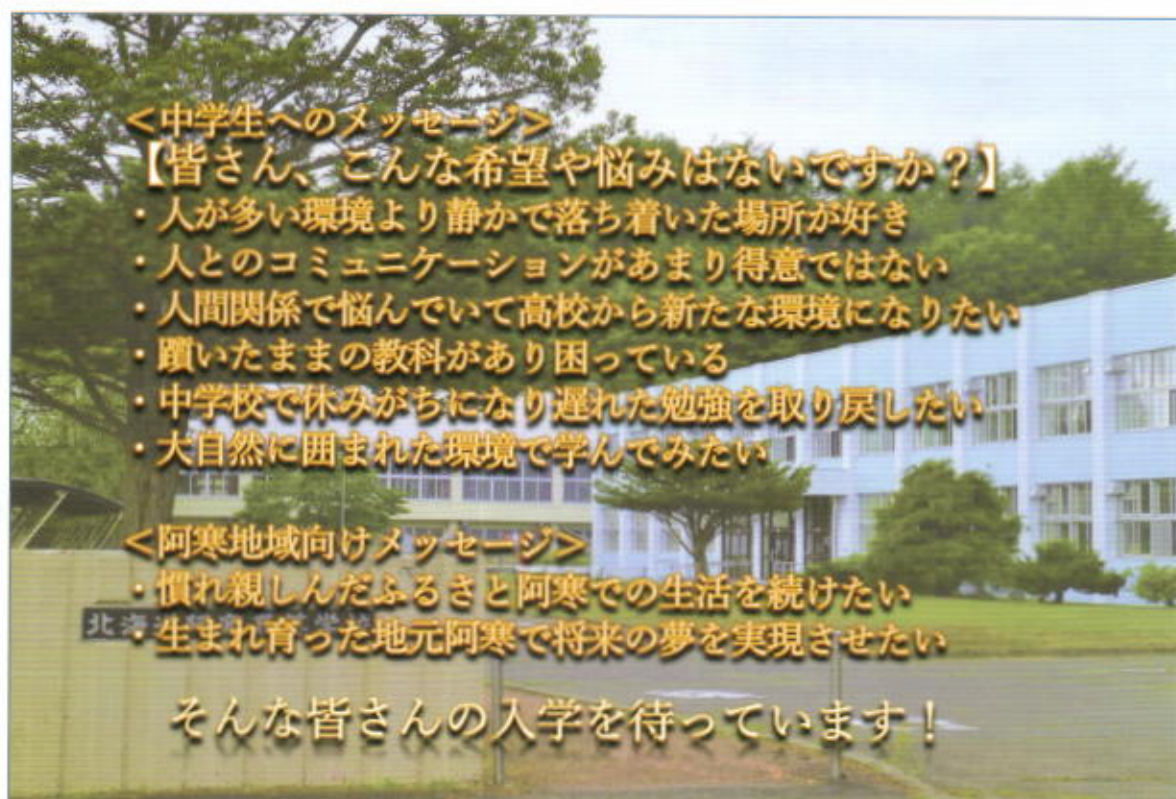
佐藤 美紅

私は子どもに関わる仕事に就きたいと考え、釧路短期大学幼児教育学科で勉強をしています。阿寒高校では生徒と先生の距離が近く、地域や幼稚園、小学校等との関わりが多くあるなど、他の学校ではできない経験がたくさんできます。また、就職率も100%ということだけではなく、人数が少ないからこそ一人一人の生徒の就職先を一緒に考え、最後まで見届けてくれるのも、就職率が100%の理由の一つだと思います。そして人数が少なく阿寒高校だからこそできる活動がたくさんあります。阿寒高校の自然豊かな環境で素敵な高校生活を送ってみませんか。

令和2年度卒業生 北海道旅客鉄道株式会社勤務

楠 美 伶 央

何か始めたいと思ったとき、阿寒高校はぴったりだと思います。なぜそう思うかというと、私は入学するまで部活動の経験がなく、高校で何か始めたいと思い吹奏楽部に入部しました。高校から吹奏楽部を始めるのは少し敷居が高いように思いますが実際はそんなことはなく、先輩方の中にも高校から始めた人は何人もいて、そのお陰で不安なく始めることができました。阿寒高校は何か始めることに對しての不安を感じず、自分のペースで少しずつ成長していくことのできる学校です。何か始めたいと思った時、阿寒高校への入学をかんがえてみてはいかがでしょうか。



北海道阿寒高等学校

〒085-0213 釧路市阿寒町仲町2丁目7番1号
電話 (0154) 66-3333(代表) 66-3303(FAX)
E-mail: akan-z0@hokkaido-c.ed.jp(職員室)
akan-z3@hokkaido-c.ed.jp(事務室)
URL: <http://www.akan.hokkaido-c.ed.jp>

